

土整備部発注土木工事に 有シ 共

◎工事情報共有システム(ASP)とは

インターネットを利用して、受発注者間で工事施工中に 関する情報を共有し、相互利活用できるシステム。 平成21年度より国土交通省所管の土木工事で試行され、 平成25年から本格導入されている。

他県の十木工事においても積極的に活用されている。





◎受発注者でのやりとりのポイント

- ・決裁書類の事務作業の効率化
- ・受発注者間のコミュニケーションの円滑化
- ・施工工事の生産性向上

これまで行われていた、受発注者間の様々なやり取りが インターネットを通して可能になる。





◎ASP導入における効果

・移動時間の削減

ASPを利用することにより、書類の発議・決裁処理がweb上で完結されるため、 書類提出のために発注 事務所を訪問する必要がなく、現場を離れる時間が激減し、現場管理に費やすことが出来る。

大容量データのやり取り

発注者とのデータのやり取りにおいて頭を悩ませるのが容量制限である。

埼玉県でもメールによるデータのやり取りにおいて容量制限があり、 書類はメールで、データは別ルート で、という煩雑なやり取りがされているところである。

ASPであれば、大容量データを添付してそのまま送ることができるため、 スムーズなコミュニケーショ ンを実現できる。

・電子納品データ作成の効率化

電子納品データを作成する際には、書類を全て電子化する必要があり、スキャニングなどの電子化の作業 が負担となっている。

ASPを利用するとASP内での書類は、電子納品要領に合わせて生成されたデータを一括ダウンロード して電子納品データを作成することができる。

また、ASP内でやり取りを行わなかった書類も後から追加することもできる。

さらに、必要に応じて、利用している電子納品ソフトに取り込む事もできる。



•書類管理の共有化

工事関係書類の提出には、控えを作成しないと、発注者に提出し決裁、検査前まで返却されず手元にない ことが多かった。

ASPを利用するとインターネット上に書類を保管するため、受発注者ともにいつでも工事書類を閲覧・共有することが可能となる。

・ペーパーレス化

成果書類の大量印刷が無くなることによるペーパーレス化やインデックス作業やファイル作成不要による業務効率が向上するとともに経費コストの縮減になる。 また、成果品控えを保管する書庫のスリム化が実現できる。

◎遠隔臨場機能の導入

これまで、監督員が現場立会のもと行っていた臨場確認に代わり、映像データを用いて発注者の事務所と現場をリアルタイムに接続し、発注者が事務所内で承認・確認できる。

受注者はスマートフォン等を用いて、簡単操作で 配信・録画できる。

受注者側の立ち会い調整時間の削減 発注者の移動時間削減

受注者・発注者双方の生産性が飛躍的にアップ!



◎導入スケジュール



令和3年度より段階的に導入予定

お問合せ先

埼玉県県土整備部建設管理課 TEL 048-830-5199 FAX 048-830-4868

